

スピード感、透明性と特に思い切った規制緩和が必要といわれるが、自治体における規制緩和をどのように考えるか。また、できる限り事業を民間へ移行し、その評価などを区が行うことにより、経済活力が取り戻せるのではないかと。民間が本来参入すべき事業を、区が直営で実施することは、規制緩和の阻害要因になっていることもあると思う。また、民間への移行については、公私の役割分担を踏まえ検討しており、民間への移行が、経済の活性化につながることを望ましいと思う。

特別養護老人ホーム民営化
山崎議員 介護保険導入を機に、特別養護老人ホームの運営に、民間や社会福祉法人が参入している。福祉サービス事業団への委託施設を、今求められるスピード感を十分踏まえ、民間への委託に切り替えるべきではないか。

福祉サービス事業団は
昨年10月に経営改革計画を策定し、介護報酬の収入で事業経営できるように改善を図っている。将来の事業団のあり方については、一定の期間の中で判断していきたい。

東中野地域センター等建設
山崎議員 現在計画が凍結されている東中野地域センター等建設について、地元の方への配慮や区民要望を聞くことは必要だと思うが、この施設をどうするかは、早い時期に判断すべきではないか。

いて、地域センター・児童館の配置と運営の見直しをすることになっている。14年度の早い時期には、区全体の配置の考え方を示し、区民論議に入りたいと思っており、その中で、どうするか決めたい。

防災

東大附属西側道路の整備
きたこう議員 東大附属中等教育学校の西側道路の拡幅整備の進捗状況は。また、塀が区道に倒れそうな所があるが、状況を把握しているか。

西側道路は密集住宅市街地整備促進事業という国の補助事業を活用して進めている。これまでの地域協議を踏まえて、今年度内には樹木の取り扱いはじめに、学校側に確認し、来年度以降の事業化につなげていきたい。塀については、特に南側が傾いており、昨年、学校側で点検と補修を行ったが、近々再点検を行うと聞いている。

自販機での防災情報の提供
きたこう議員 地震などの災害時に防災情報を表示できる飲料自動販売機の設置について、平成12年の定例会で質問し、前向きに取り組むという回答を得たが、その後の検討状況は。

他自治体の普及状況
設置状況等の情報収集、飲料メーカーからヒアリングを受けるなど、調査を進めている。今後さらに研究を進めたい。

保健・福祉

中野福祉作業所
斎藤(高)議員 この不況下では作業所の仕事も少なく、障害者の働く喜びや自立のためにも、野方二丁目24番地の土地を活用し、「花いっぱい運動」として花を栽培し、収入を得られるような事業を検討できないか。また、施設が老朽化しているため、警察大等学校跡地に移転・改築を考慮してはどうか。

当該地に花の栽培を行うことは考えていない。警察大等学校跡地の転換計画では、福祉施設は平成23年度以降とされている。当面は現状での利用を続けながら移転・改築の可能性を検討する。

脱法ドラッグ対策
平島議員 脱法ドラッグが、コンサート会場前などで、半ば公然と売買され、若者の事故や犯罪を誘発している。将来の中野にとって、非常に憂慮すべき状況だが、区はどのように対応するか。

区は、薬物乱用防止に関する協議会や教育委員会、警察などの関係機関、各種団体と地道な連携、協力を行うことが重要と考える。また、薬物乱用防止キャンペーンや区報などによるPR、インターネット上にホームページを設けるなどして、正しい知識の普及啓発に努めたい。

路上生活者の自立支援
若林議員 公園で生活して

いる人が数多く見受けられる公園をよく見回り、何らかの手を尽くす必要があるのでは。また、路上生活者への自立指導も大切だと思うが、どうか。

利用者公園で荷物を広げて占用することのないよう、巡回時に荷物の撤去指導などを粘り強く行っていく。また、緊急一時保護センターや自立支援センターへの入所を案内し、さらに、就労相談も行っていきます。

長沢議員 障害児一人ひとりの成長・発達を保障するためには、施設確保と職員配置が不可欠である。個別専門療育の回数を増やすなど、必要な療育を受けられない子どもを出さないよう体制を充実すべきではないか。

現在の利用児には定期的な集団指導を行っており、待機児についても定期的な指導相談を設けている。来年度はその体制を充実し、今後とも障害児の施策について検討し、計画化していく。

長沢議員 23区中11区が保険料の減免を実施し、2区が実施予定と聞く。生活保護基準以下の収入の世帯には減額措置を講じるべきではないか。03年度の改定を待たずに決断できないか。

現在、次の介護保険事業計画を策定しているところであり、その中で、区民の負担能力に配慮し、保険料の段階区分を5段階から6段階とする検討をしている。低所得者に対する個別の減免実施については、これらの検討状況を見ながら判断する。

福祉施設の法内化
むとう議員 福祉施設が法内化されると施設面で充実する反面、知的障害者と身体障害者の相互利用が制限される場合もある。生活実習事業が法内化された場合、これまで利用し、また、新たに利用しようとする身体障害者の処遇はどうなるのか。

障害者福祉会館3階の生活実習事業が知的障害者の厚生施設として法内化する場合は、身体障害者の移行も新たな受け入れもできないので、別に身体障害者のデイサービス事業の施設をつくる検討もする必要があります。

飼主のいない猫との共生
むとう議員 横浜市磯子区は、猫の飼育ガイドラインを策定し、飼主のいない猫をこれ以上増やさないために、地域猫として地域住民が適切に飼育・管理する取組みを行っている。区内で発生しているのら猫問題解決に向けて、磯子区や東京都の飼主のいない猫との共生モデルプランなどを参考に、区独自の取組みを行うべきでは。

飼主のいない猫の問題は、地域住民が自主的な合意に基づき、地域で適切に飼育・管理することを基本とし、区としても情報提供や支援策を研究していきたい。

環境・建設

山手通り問題
若永議員 山手通り拡幅整備は、自転車専用道を設けるなど計画変更した。改めて都に対し、アセスメントを求めるとともに、住民への説明会を実施すべきではないか。中野坂上交差点の立体化問題は、これ以上、住民への被害が起きないよう、積極的な情報収集や、提供を行うべきと思うがどうか。

地域センターと協議し、対応したい。住民の意見を聞くことは当然必要であり、区としても努力したい。

平和の森公園
佐伯議員 平成11年に採択された平和の森公園計画にスポーツ施設としての機能を生かしてほしい、という陳情は、今後の利用にどう反映されるのか。担当の課長がこの陳情文書を初めて見たのはいつか。

陳情採択という事実を受け止め、利用検討委員会に議会のやりとりの資料提供をしてゆく。陳情文書を見たのはこの一週間ほど前だ。

施設できないのか。
答 収集後清掃工場や中継所までの運搬に時間がかかることや、道路事情により収集経路が変更されることもあり、地域ごとに時間帯を設定することは難しい。地域別時間帯を設定している区はほとんどが区内に清掃工場があり、安定的に搬入ができることになると認識している。

本町四丁目複合施設の整備
吉原議員 本町四丁目の区有地に建設予定のデイサービスセンター及び高齢者・障害者福祉住宅建設への取組み状況は。野方六丁目の複合施設は民間活力を使うことになったが、同様の方法で整備をすることはできないか。

野方六丁目の複合施設と同様に民間資金を活用して整備する計画を進めているが、同施設で利用した東京都住宅供給公社の制度が休止されることから、同様の制度がないか調査している。

放置自転車問題と道徳教育
吉原議員 放置自転車をなくす手がかかりとして、学校教育があると思う。学校での道徳教育において、放置自転車がいけないということは何の程度まで教えているのか。

集団生活、社会生活にかかわるマナーのひとつとして、各学校において年間1回は扱った項目である。各学校には、重点的に取り組むよう指導していく。

きたこう議員 23区のおくがごみは午前8時までに出すよう呼びかけているが、実際の収集時刻は昼近くや午後になることもある。他区では、地域ごとに実際の収集時刻の目安を表示しているところもある。まちの美化やカラス対策の面からも、中野区でも実

教育

環境・リサイクルプラザ
むとう議員 環境・リサイクルプラザと消費者センターは、一つの施設で二つの課が事業をそれぞれ展開しているが、利用する区民は統一した事業展開を望んでいる。区民を交え、課の垣根を越えた共同運営を推進すれば、効率的な事業運営ができるのでは。

できるだけ早い時期に組織としての一体化について関係区民との共同運営も含めて運営方法を検討していきたい。

教育改革
しの議員 日本人の文化や伝統は、正しく継承されるべきであり、政治に巻き込まれて損なわれてはならない。本当の教育改革は、まず国語教育から始めるべきだと思うが、小さいうちから読書習慣を身につけるといって目標掲げ取り組んでみてはどうか。

区の国語教育は、全国的な評価を得た先駆的学校もあり、どの学校でも重点的に取り組んでいる。読書は一生を左右する心の糧を植えつけるもので、幼児期においても非常に大事だ。全校で大きな効果を出している学校図書館指導員制度も続けていきたい。

区立図書館と学校図書館
若永議員 図書購入費が、3年間で65%も削減され、貸出しどころか、閲覧も不十分になっている。区民一人当た